

# 碁石地区農地保全会【川崎町】

本地域は、川崎町の東端に位置し、仙台市に隣接した農業集落で、碁石、川窪、川向の3地域から構成されている地域である。地形的にもまとまりのある地域であり対象農地の大半は団体営ほ場整備事業により整備されているが、条件不利地を中心に未整備の農地も残されており、耕作放棄も散見されている。



## 【組織概要】活動組織

- ・取組開始 平成26年度
- ・取組面積 2.9ha  
(田 2.6ha, 畑 0.3ha)
- ・取組活動  
農地維持支払活動

## 取組にあたって

### 【課題】

条件不利地を中心に未整備の農地も残っており、ほ場整備済の地域と比較して作業量が多く差が出ている。

### 【保全管理】

施設の健全な維持管理と農業生産活動の継続のため、集落を3地域に区分し、役員の他に地域担当理事を置いて地域単位で農道や水路、ため池の維持管理作業を行っている。地区全体のとりまとめについては役員が行うこととしている。



【水路の泥上げ】

## 取組の内容

### ■適切な保全管理活動

条件不利地を中心に灌木(背の低い木)が生えている耕作放棄地も見られたが、年間計画により管理し減少傾向にある。

### ■担い手農家の育成・確保

認定農家を中心に町が農業の担い手としている農家に集約することを目指しているが、現段階では営農を継続している小規模農家も多いため、将来的に小規模農家がリタイアして大規模農家に営農を委託することを想定して活動を行っている。

また、他の集落からは離れている独立した集落で比較的まとまりはあり、担い手への集約はスムーズに進むと考えている。

### ■農地の利用集積

水稻を中心に集積を図っているが、上記で記載したとおり営農を継続している小規模農家もいるため、現段階では集積率の向上は見られないが、本事業の導入により施設の共同管理の考え方が定着しつつあり、集積を推進しやすい体制ができている。

## 取組の効果

■農家の高齢化により草刈り等の管理ができなかった施設についても維持管理が可能となり、農業用水路の円滑な利用や農道の利用ができるようになった。

■また、当活動を通じて共同作業の考えが定着し、集落全体としてのまとまりが増加しており、他の集落活動に対しても積極的な参加が見られるようになった。



【草刈りの様子】